

# アグリワークポイント AGRI WORK POINT

## 米

### 田植え後の管理

農業経営支援課 山村



#### 水管理

- ・田植え直後はやや深水とし、風による苗のいたみを防ぎましょう。
- ・活着後（3〜4日後）は茎数の増加を助けるため、基本的に浅水で管理しましょう。
- ・除草剤の施用時は深水にしてから処理し、7日間は止め水管理を行いましょう。ただし田面に「瀬」が出てしまう状態では除草効果が劣るため、必要に応じて水を入れましょう。
- ・田植え2〜3週間後に、半日〜2日、水を落としてガス抜きを行い、健全な根を増やします。ガスの発生が多い水田では、ガスを抜きを繰り返すことが効果的です。

#### ジャンボタニシの防除

- ・例年、ジャンボタニシの被害が増加傾向にあります。田植え直後から初期生育にかけて、活動が確認されたタイミングで「スクミン」を10aあたり2〜4kg施用してください（使用回数2回まで）。

#### 除草剤

- ・粒剤（カチボシ粒剤、ラオウ粒剤など）は処理時の水深を3〜5cm、ジャンボ剤（メテオジャンボ、ラオウジャンボなど）は5〜7cmを目安に使用します。
- ・農薬のラベルを必ず確認し、適正に使用してください。

#### 中干し

- ・中干し前に8〜10条おきに溝切りを行うと、入排水がスムーズになり、中干しや間断かん水の効果が向上します。
- ・目標茎数の8割が確保できたら（コシヒカリで田植え後35日が目安）中干しを開始します。田面に小さなヒビが入り軽く足跡がついて歩ける程度に行い、強くやり過ぎない様に注意しましょう。

※中干し期間は、品種や生育状況、天候条件などによって調整が必要になります。各品種の特性や圃場の状況をよく確認しながら適切な管理を行いましょう。